

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 587 号	氏名	亀井 里加
学位審査委員		主 査 濱野 真二郎	
		副 査 松山 俊文	
		副 査 平山 謙二	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価			
本研究は、 <i>Plasmodium yoelii</i> 感染時に脾臓で著しく増加する MHC class II+ CD11c- 細胞集団の由来、サイトカイン産生能、抗原提示能を解明しようとしたもので目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価			
<i>Plasmodium yoelii</i> 感染時に脾臓で増加する MHC class II+ CD11c- 細胞集団の由来を明らかにするために、マウスへの脾細胞移入実験も組み合わせつつ、免疫関連各細胞集団の表面マーカーの染色、フローサイトメトリーによる測定・解析がなされた。また、MHC class II+ CD11c- 細胞集団のサイトカイン産生能、抗原提示能も妥当な方法で測定・解析されている。			
3 解析・考察の評価			
上記手法で解析した結果、 <i>Plasmodium yoelii</i> 感染時に脾臓で著しく増加する MHC class II+ CD11c- 細胞集団の中心は非リンパ球細胞集団であり、その集積はリンパ球依存的であることが明らかとなった。本知見はマラリア原虫に対する感染防御機構の解明へ向けた重要な発見である。			
以上のように本論文はマラリア研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			